

週間漁海況情報 2026年第10号

令和8年3月10日発行

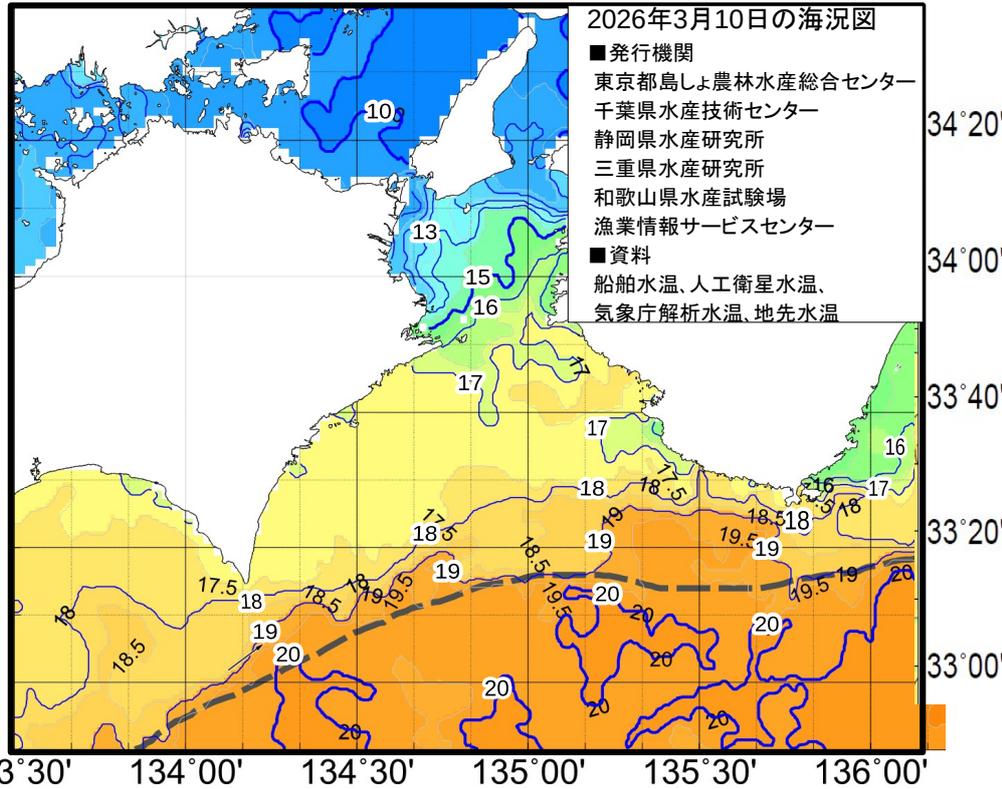
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖25マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は18～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で9～10、紀伊水道で11～16、海部沿岸で16～17℃台となっている。



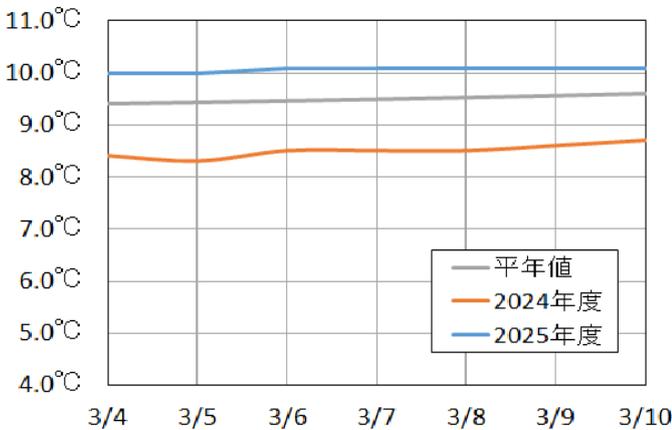
※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

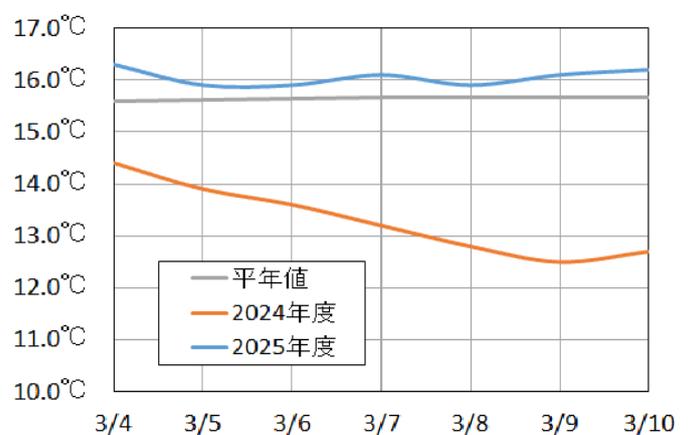
2. 地先水温(3月4日~3月10日)

鳴門地区の水温は、10.0～10.1℃で「やや高め」で推移。浅川地区は、15.9～16.2℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、5.8～6.3℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(3月11日~3月17日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。
 地先水温は、鳴門、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (3月2日～3月8日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

延縄では、あまだい類が減って0.3ト水揚げされた。
 底びき網では、マダイが増えて0.6ト水揚げされた。
 小型定置網では、ブリが大きく増えてめじろ級主体に1.1ト、マアジが0.8ト、
 ヒラメが増えて大主体に0.5ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

大型定置網では、マサバが大きく増えて小主体に18.6ト、ブリが大主体に4.9ト、
 マアジが増えて1.1ト、サワラが減って小主体に0.7ト、
 マルアジが小小主体に0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	42	あまだい類	329	8		↘
	底びき網	15	マダイ	558	37		↗
	小型定置網	16	ブリ	1,120	70	めじろ級主体	↗↗
		16	マアジ	838	52		→
		17	ヒラメ	477	28	大主体	↗
海部沿岸	大型定置網	5	マサバ	18,580	3,716	小主体	↗↗
		5	ブリ	4,948	990	大主体	→
		5	マアジ	1,148	230		↗
		5	サワラ	658	132	小主体	↘
		5	マルアジ	547	109	小小主体	→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘